



自転車

JPT 第5戦

自転車ロードレースの
Jプロツアーリーグ（JPT）
第5戦「東日本ロードクラシック群馬大会Day1」（6月17日）は28日、群馬県みなかみ町の群馬サイクルスポーツセンターで行
われ、宇都宮ブリッジエンの岡嶋志が首位と同タイムの2時間30分42秒で

2位に入った。
前戦から約1カ月空いて開催されたレースは序盤からアタックと吸収を繰り返し、中盤にブリッジエンの雨沢毅明ら少數

が抜け出して活性化。終盤に雨澤がメイン集団に

02秒差で首位となり、増田成幸、鈴木謙ら数人が先

行。約10人を絞られたゴルスプリントに挑む

木一茂（アリヂストン）が首位でフィニッシュ、

岡が僅差で2位だった。

増田は5位、鈴木謙は10位だった。

那須ブライゼンは仁井が6位と健闘。ホンダ

JPT 第5戦

最高だった。

次戦「東日本ロードクラシック群馬大会Day2」は29日、同所で行

われる。

△P（6月17日）102.5

①宇都宮ブリッジエン 2

△木一茂（アリヂストン） 2

△増田成幸（宇都宮ブリッジエン） 2

△鈴木謙（宇都宮ブリッジエン） 2

△佐々木（ホンダ） 2

△山本（ホンダ） 2

△西尾（ホンダ） 2

△高橋（ホンダ） 2

△佐藤（ホンダ） 2

△西尾（ホンダ） 2

△高橋（ホンダ） 2

岡（ブリッジエン）僅差で2位

チーム首位は死守
○これまで4戦3勝
と好調を維持してきた宇
都宮ブリッジエンだが、
この日は岡嶋志が2位。

清水裕輔監督は「思って
いた通りの流れはつくられ
たが優勝者（木一茂）が上手だった」と深く負
けを認めた。

積極的にレースを動か
しつつ最終盤まで數的優

位を保つたが、約3000

人が手前で始まったゴール

スプリントで差しきれ

なかつた。それでも10

位以内に3人が食い込

み、チーム首位の座は守

った。

前戦から空いた1カ月

でチームは体力づくりの

見直しとハードな走り込

みを実施。指揮官は「段

階を踏んで強度を高め

た」と次戦での巻き返し

に自信をのぞかせてい

た。